

# 国語科学習指導案（支援案）

日 時：2005年7月15日（金）第2教時

児 童：御成小学校3・4年3名

3年 男子1名 女子1名

4年 男子1名

指導者：〇〇〇〇

1. 題材名           3年「めだか」  
                      4年「花を見つける手ががり」

## 2. 題材について

<3年>

昔から、めだかはかわいく親しみのある魚という印象である。しかし、めだかのような小さな魚が、その小さな命を必死に守っていることを知っている人は少ない。そこにこの文章のおもしろさがある。子どもはその意外性に引きこまれこの文章を読み進めていく。「めだか」は、筆者の科学的な態度が顕著であるとともに温かさの感じられる味わいのある文章である。しかも、その文章がきわめて論理的な文章構成で枠付けされている。したがって、その味わいをそこなうことなく、自然体のうちに子どもたちに読む力をつけていきたい。

<4年>

花に止まるもんしろちょうは、子どもたちにとってなじみ深い昆虫であろう。「いったい、もんしろちょうは、何を手がかりにして、花を見つけるのでしょうか。」という、日常生活の中であたりまえだと思われることを問題として取り上げ、その解明のために大がかりな実験を行おうとする、科学者の発想は、子どもに強い印象を与えるだろう。そして、科学者たちが、条件統一に気を配った一連の比較実験を行いながら、消去法的に疑問を解いていく過程について、興味深く読み進めていくことであろう。

## 3. 題材の目標

<3年>

○めだかの身の守り方をとらえるために、中心となる語や文をとらえて、文章を正しく読む。

<4年>

○実験の仕方や順序に注意して、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読む。

#### 4. 児童の実態

<3年>

男子1名、女子1名の学年である。作業面での個人差は少なく、2名とも理解するのが非常に早い。自力解決や話し合いなどにおいては教師の支援がまだ必要である。

<4年>

男子1名の学年である。理解、定着に多少の時間を要する。1人ということで、考えの広がりや深まりなどは難しい。そのため教師の発問や課題解決の場面での関わり方など、配慮が必要である。

#### 5. 指導計画

<3年> 「めだか」全9時間

時	学習内容	評価規準
1	○「めだか」を読んで、初めて知ったことなどを発表する。	(関) 書かれていることに興味をもち、身の守り方についてすすんで考えようとしている。
2	○学習課題を考え、今後の学習の見通しを持つ。	(話・聞) めだかや水の生き物についての情報を発表している。
3	○新出漢字・語句調べ	
4	○①～③段落を読んで、めだかの様子やめだかの敵などについて話し合う。 「めだかってどんな魚か。めだかの敵って何か。」	(書) めだかの身の守り方や体の仕組みについて、わかりやすくまとめて書いている。 (読) 大事な事を落とさずに、めだかの身の守り方について読み取っている。
5	○④～⑧段落を読んで、めだかの身の守り方について説明し合い、ノートにまとめる。 「めだかはどのようにして身を守るのか？それはどうしてか。」	(読) まちがえず、句読点に注意して音読している。
6	○⑨～⑬段落を読んで、自然の厳しさやめだかの体の仕組みについて、ノートにまとめる。 「めだかはどうして水たまりでも海水でも生きることができるのか。」	
7	○⑭段落を読んで、文章構成について話し合う。 「段落のつながりを考えよう。」	(言) 文章全体における各段落のまとまりを理解している。
8	○めだかについて調べたり、めだかや	(関) 書かれていることに興味をもち、身の

・ 9	水の中の生き物について書かれた本を読む。	守り方についてすすんで考えようとしている。 (話・聞) めだかや水の生き物についての情報を発表している。
--------	----------------------	---

<4年>「花を見つける手がかり」全10時間

時	学習内容	評価規準
1	○「花を見つける手がかり」を読んで、初めて知ったことなどを発表する。	(関) 実験の手順などに注意して、興味をもちながら内容を読もうとしている。
2 ・ 3	○学習課題を考え、今後の学習の見通しを持つ。 ○新出漢字・語句調べ	(話・聞) 読み取ったことについて、自分の意見や考えを話している。
4	○①②段落を読んで、問題文と三つの手がかりについて考える。 「もんしろちょうはどんなちょうか。手がかりとして考えられるものは何か。」	(書) 文章を読んで、大切な事柄をまとめて書いている。 (読) それぞれの実験ごとに段落の要点を読み取り、段落のつながりを理解している。 (言) 指示語や接続語に注意して文章を読んでいる。
5	○③④段落を読んで、実験の様子や結果についてまとめる。 「だれが何のためにどんな実験したのか。どんな準備をしたか。」	(読) まちがえず、句読点に注意して音読している。
6	○⑤～⑧段落を読んで、実験の様子や結果についてまとめる。 「最初の実験はどんなことをしたか。どんなことがわかったか。」	
7	○⑨⑩段落を読んで、二番目の実験の様子や結果についてまとめる。 「二番目の実験はどんなことをしたか。どんなことがわかったか。」	
8	○⑪～⑬段落を読んで、三番目の実験の様子や結果についてまとめる。 「三番目の実験はどんなことをしたか。どんなことがわかったか。」	
9	○⑭⑮段落を読んで、筆者の考えや述べ方の工夫についてまとめる。	
10	○文章構成について考え、学習感想を	(関) 実験の手順などに注意して、興味をも

	書く。	ちながら内容を読もうとしている。 (話・聞) 読み取ったことについて、自分の 意見や考えを話している。
--	-----	---

## 6. 本時の目標

<3年>

(読) 大事な事を落とさずに、めだかの身の守り方について説明できる。

<4年>

(読) 最初の実験の要点を読み取り、実験を説明できる。

## 7. 本時の展開

階	児童の活動 (3年)	教師の活動	わたり	教師の活動	児童の活動 (4年)	階
課題設定・見直し	○前時の学習内容を 確認する ・めだかの様子 ・めだかの敵  ○④段落から⑧段落 まで読む。	○黙読する ように指示 する。		○黙読する ように指示 する。  ○、や。に 注意させる  ○課題提示	○⑤段落から⑧段落 まで読む。  ○前時の学習内容を 確認する。 ・実験の準備など  ○今日の学習範囲を 音読する。  ○本時の課題を確認 する。 「最初の実験はどん なことをしたか。ど んなことがわかった か。」	課題設定・見直し
	○今日の学習範囲を 音読する。	○、や。に 注意させる		○色別に分 けて、線を 引かせる。	○実験1の内容を 読み取り、大事など ろに線を引く。 ・実験に使ったもの ・どんなことをして	課題解決
	○本時の課題を確認 する。 「めだかはどのよう にして身を守るの	○課題提示				

	<p>か？それはどうしてか。」</p> <p>○④段落が問題を提示していることを知る。</p>	<p>○「では」「そのような」に着目させる。</p>				<p>みたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果はどうだったか。</li> <li>・この実験からわかったこと。</li> <li>・次に確かめること</li> </ul>	
<p>課題解決</p>	<p>○⑤～⑧段落の大事なところに線を引く。</p>	<p>○身の守り方—一本線 理由—二本線</p>			<p>○評価する(発表)</p>	<p>○線を引いたところを発表する。</p> <p>○線を引いたところをもとに、具体物を使って実験を説明する。</p>	
	<p>○さし絵を使って説明できるように、原稿を考え、ノートに書く。</p>	<p>○自分なりの言葉を付け加えてくわしく発表できるようにさせる。</p>			<p>○ワークシートを配布する</p>	<p>○ワークシートに実験の内容を記入する</p>	<p>まとめ・交流</p>
<p>まとめ・交流</p>	<p>○自分の考えた原稿をもとにさし絵を使って説明する。</p>	<p>○評価する(発表)</p>			<p>○次時の予告をする。</p>	<p>○次時の場面を黙読する。</p>	
	<p>○守り方と理由をワークシートに記入する。</p>	<p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○次時の予告をする。</p>			<p>○次時の予告をする。</p>		

8. 本時の評価（評価基準）

< 3年 >

（読む能力）

B：大事な事を落とさずに、めだかの身の守り方について説明できる。

A：自分なりの言葉を付け加えながら、大事な事を落とさずに、めだかの身の守り方に説明できる。

< 4年 >

（読む能力）

B：最初の実験の読み取り、実験を説明できたか。

A：最初の実験の要点を読み取り、具体物を正しく使って実験を説明できたか。